

- 20 死亡率の標準化について……………植 松 稔(北里大学)
- 21 「死因」からみた世代生命表と静態的年齢別死亡数の比較的研究…飯 淵 康 雄(関西医科大学)
- 22 人口総数の変動と安定人口(第3報)……………安倍 弘 毅(久留米大学)
- 矢野 邦 夫()
- 江崎 広 次()
- 田 中 雅 生(九州大学)
- 23 わが国民の健康状態に関する生態学的研究(コンピューターを用いた多変量解析)第11報 健康指標に与える生活時間の影響…山 本 幹 夫(順天堂大学)
- 寺 尾 浩 明()
- 塩 原 秀 子()
- 土 屋 基()
- 24 戦後における女子人口再生産率のコーホートの観察……………山 口 喜 一(人口問題研究所)
- 金 子 武 治()

第2日(5月19日)

○シンポジウム「人口静止をめぐる諸問題」

- 報告会……………座長…森 田 優 三(福岡大学)
- 曾 田 長 宗(国立公衆衛生院)
- (1) 問題の提起……………村 松 稔(国立公衆衛生院)
- (2) 後進国成長への道……………茅 陽 一(東京大学)
- (3) 人口静止の社会生物学的考察……………松 永 英(国立遺伝学研究所)
- (4) 経済学からみた人口静止問題……………安 川 正 彬(慶応義塾大学)
- (5) 昭和47年第6次出産力調査結果の概要とコメント……………篠 崎 信 男(人口問題研究所)
- 青 木 尚 雄()
- 濱 英 彦()
- 総括討論会……………座長…寺 尾 琢 磨(慶応義塾大学)

- 補佐…村松 稔・安川正彬・大淵 寛
- 予定討論 (1) 曾田長宗(国立公衆衛生院) (2) 上田正夫(人口問題研究所)
- (3) 国井長次郎(日本家族計画連盟) (4) 吉田忠雄(明治大学)

(山口喜一記)

1973年度日本地理学会春季学術大会

昭和48年4月4日および5日の両日にわたり、1973年度日本地理学会春季学術大会ならびに総会が、東京学芸大学において開催された。一般研究発表は、水文・地形・気候などの自然部門において58題、および、集落・農業・地域開発・工業・都市などの人文部門において61題、合計119題の報告があった。また、恒例の巡検が、4月6日から7日にかけて、富山山麓、埼玉県東部、ならびに栃木県中部についておこなわれた。一般研究発表のうち、人口に関連する報告としてつぎのものがあつた。

- 厚木市の変容(Ⅱ)——人口動態——……………橋 本 真 司(日本大学大学院)
- 環境概念の地理学者による緻密化と公害認識に占める現代的意味…岡 田 真(駒沢大学)
- 近畿圏における都市圏の変容……………沢 田 清(日本大学)
- 産業基盤からみた日本の都市の一考察……………高 野 史 男(東京教育大学)

(高橋真一記)